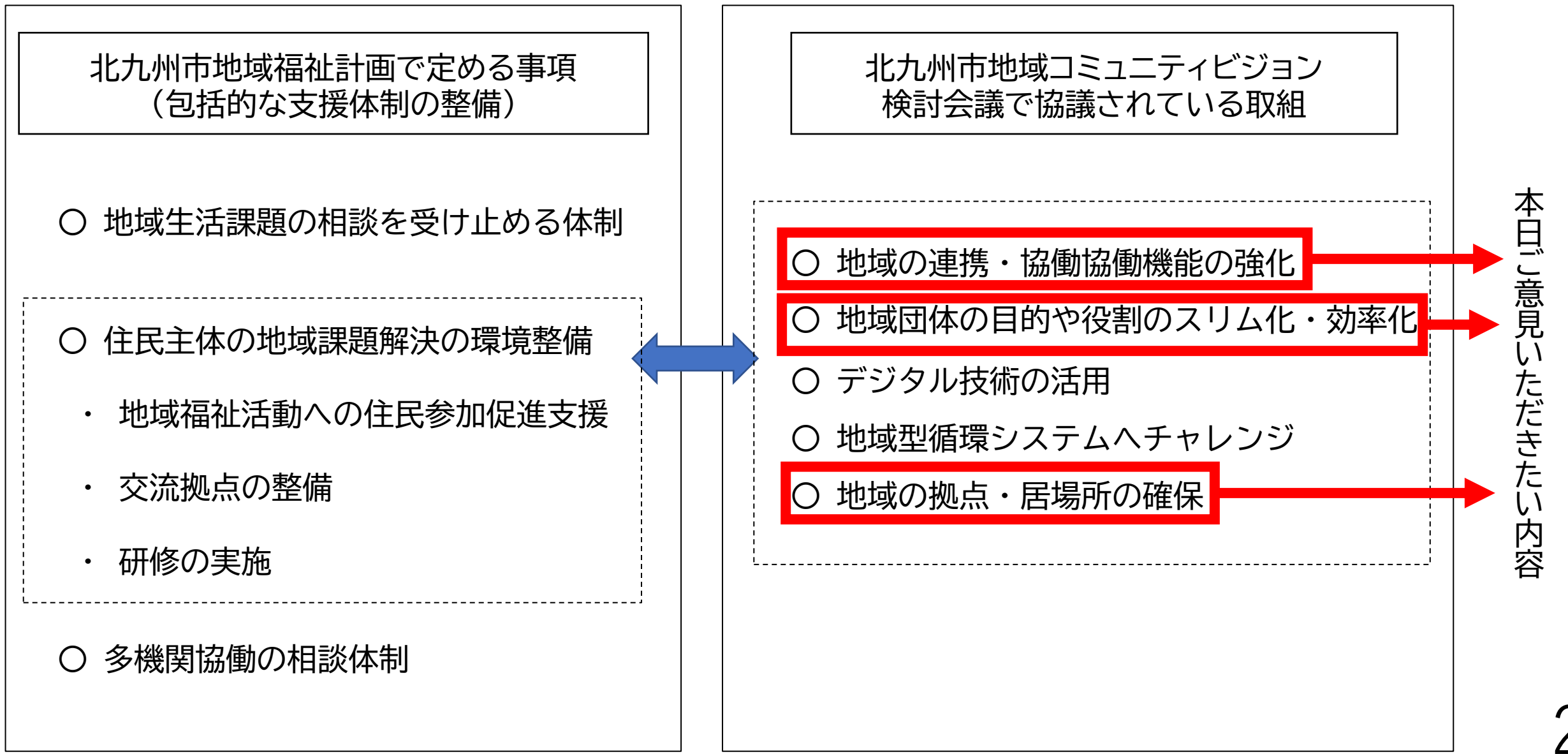


3 地域コミュニティビジョンの検討を踏まえた 地域福祉の推進の考え方

3 地域コミュニティビジョンの検討を踏まえた地域福祉の推進の考え方

北九州市地域福祉計画で定める事項と北九州市地域コミュニティビジョン検討会議で協議されている取組



北九州市地域コミュニティビジョン検討会議(第5回)資料より これまでの議論から見えてきた「取り組みのアイデア」

地域の連携・
協働機能の強化

- 「子どもを地域で育てる視点」
- 「学校を核にPTA、地域、OB、先生、企業などが関われる形」
- 「テーマがあれば若い人は関心を持つ。自治会という枠にこだわらなくてよい。」
- 「自治会だけで全部を担うのは限界。NPOや企業、大学とも役割分担が必要。」
- 「若い世代に企画を任せると、同世代が集まりやすい。」



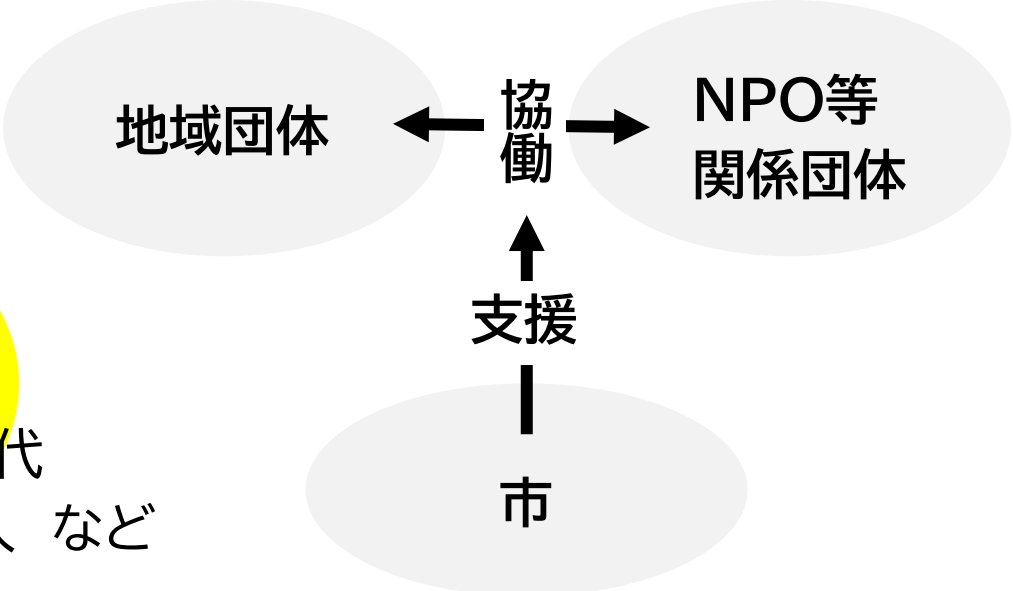
取組例

- ① 地域と、大学やNPO・企業等をつなぐプラットフォームの整備
- ② 地域リーダーのスキルアップ・育成や地域運営の好事例の横展開



地域の連携・協働機能の強化

地域福祉に係る活動で考える



対象
 高齢者
 障害のある人
 子ども・子育て世代
 生活に困窮する人 など

協働内容
 社会参加
 地域活動参加
 地域生活課題の解決
 買物支援
 食支援 など

これまでの成功例・失敗例を踏まえ、連携・協働していくために必要なものは何か

例① 地域団体に求められるもの
 例② NPO等関係団体に求められるもの

北九州市地域コミュニティビジョン検討会議(第5回)資料より これまでの議論から見えてきた「取り組みのアイデア」

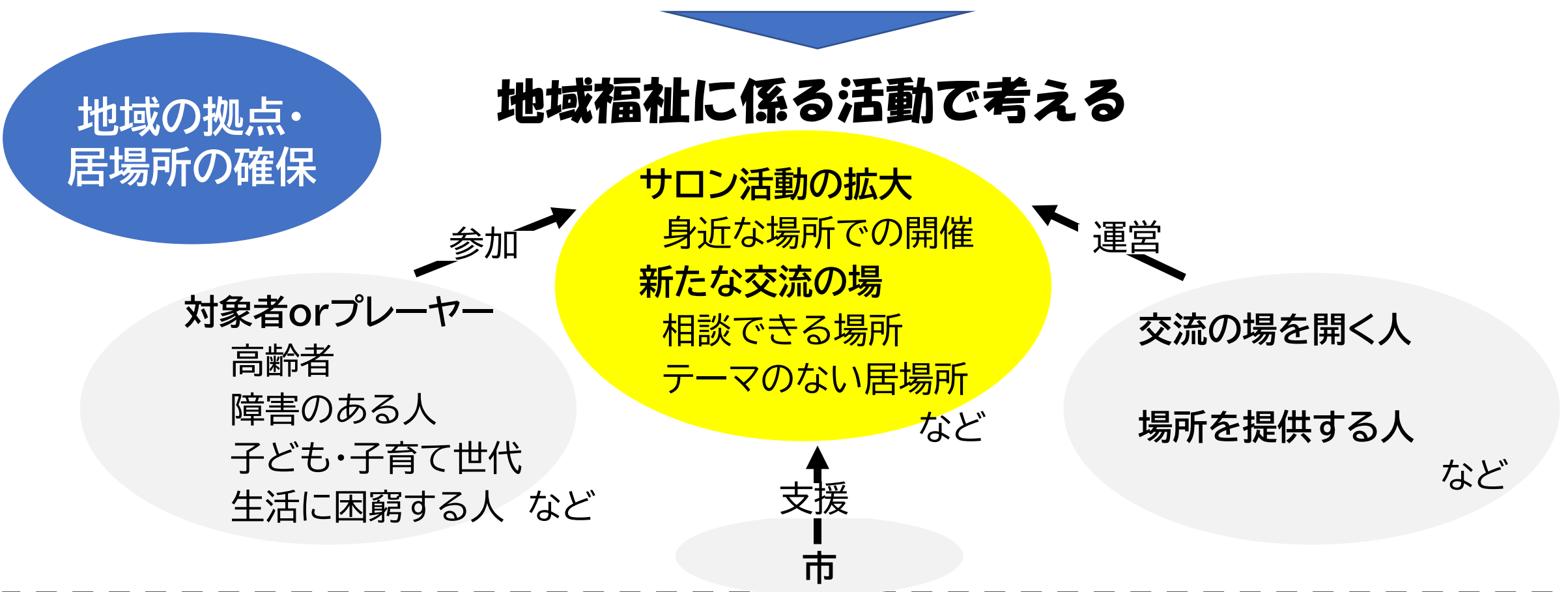
地域の拠点・
居場所の確保

「市民センターで、楽しみながらアイデアを形にできるとよい。」
「市民センターのルールは、もっと簡素で柔軟でもいい。」
「市民センターは、多世代・多様な人が交わる場として使える。」
「学校は、子どもだけでなく地域の接点になり得る。」
「居場所があること自体が安心感につながる。」



取組例

- ① 地域のコミュニティ拠点施設の整理・確保・多機能化の推進
- ② 多世代が集う「サード・プレイス」機能の充実



交流の場を広げて(エリア・対象者)いく
ために何が必要か

例① 交流の場を開く人に求められるもの
例② 場所・財源の確保について

北九州市地域コミュニティビジョン検討会議(第5回)資料より

これまでの議論から見えてきた「取り組みのアイデア」

地域団体の目的や
役割のスリム化・効率化

「目的や取組が多すぎて、かえって活動が伝わらない。」
「行政からの依頼業務が多く、負担になっている。」
「行政が地域に仕事を頼むなら、対価があってよい。」
「地域が本来やりたいことに集中できる形にすべき。」

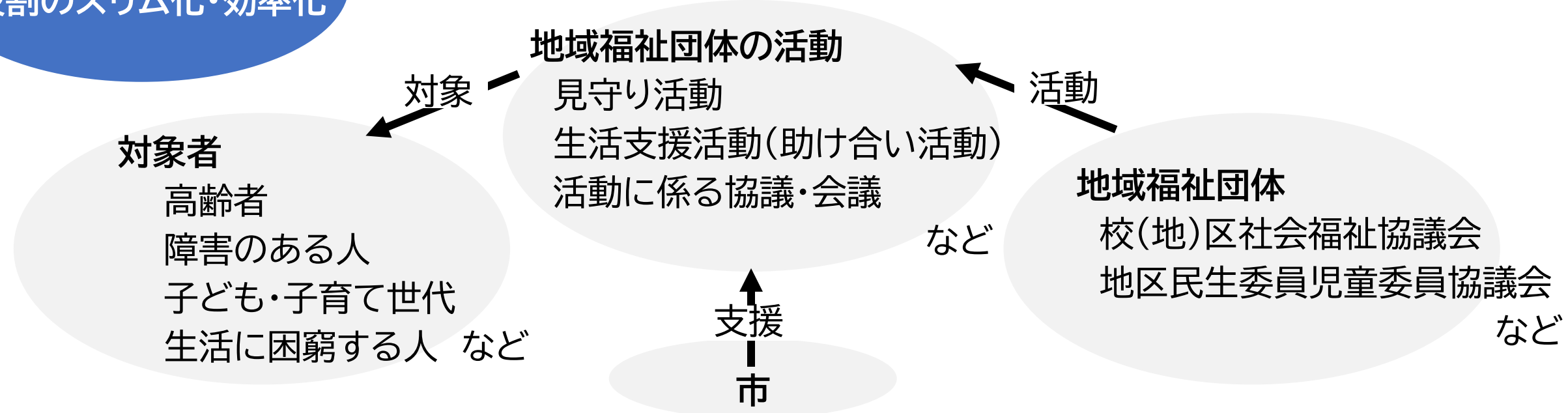


取組例

- ① 地域団体が担う行政機能の再整理・再構築
(例) デジタル技術を活用した代替手段の確保
団体側にニーズのない動員・広報依頼の廃止、委員選出依頼の見直し
- ② 地域団体間の役割の調整・整理

地域団体の目的や
役割のスリム化・効率化

地域福祉に係る活動で考える



今後の地域福祉団体の活動について

例① 活動の役割分担など整理すべきもの

例② デジタル化など業務の効率化